あつぎ郷土博物館NEWS　11月号

好評開催中

企画展「芸術の地あつぎⅠ ―近世あつぎの美術―」展③

どこから来たの？ あつぎの猫絵





猫絵２点　上は作者不明、下は一閑人筆　時期不詳

あつぎ郷土博物館では、12月6日(日)まで企画展「芸術の地あつぎⅠ ―近世あつぎの美術―」を開催中です。現在は、後期(11月10日～)展示です。

＊

過日、ロンドン大学の大学院生から厚木の「猫絵」に関する問い合わせがありました。蚕を食い荒らす鼠除けのアイコンとして描かれた猫の絵についてです。今回の展示会で天利五勇の下絵を整理していたところ猫絵が２枚見つかりました。

無署名の絵には、師匠（五川か）の朱が入っていますが、これが特に珍重された「新田岩松四代の猫絵」のうち、19代新田徳純（1777～1825）の猫絵に酷似しています。ただ、この資料が厚木に「新田猫」が存在したことを意味するのか否かは不明です。過去の調査では、養蚕の守護神として常陸国筑波山蚕影大明神、馬鳴菩薩、保食神、埴山姫、金色姫、シラガミサマ等、多種多様な神仏が祀られています（『厚木の民俗２　生業』厚木市教委、1982）が、猫絵の報告はありません。では五勇(?)はどこでこの手本となる絵を手に入れたのでしょうか。美術史、蚕業史に係わる興味深い問題です。

猫に会いに博物館へ是非お越しください。併せて講演会、講座も開催しますので、お早目の申し込みをお願いします。

●**会　期**：12月６日（日）まで
●**入館料**：無　料
●**講演会、関連行事参加費**：無料

あつぎ郷土博物館 １１月の予定

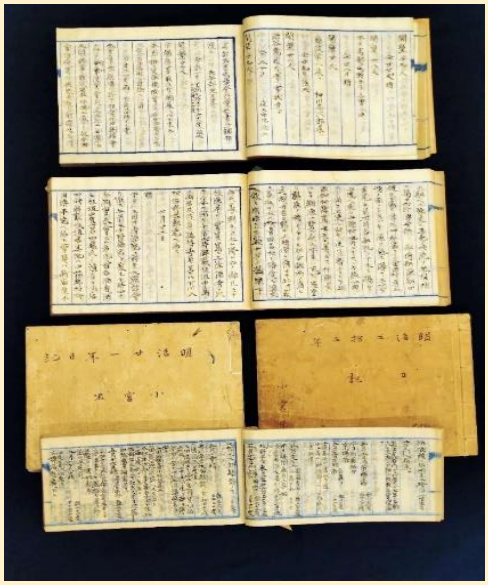
日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
企画展「芸術の地あつぎⅠ ―近世あつぎの美術―」１２月６日まで開催				
8	日	展示資料「地口行燈」解読体験〈申込制〉	古文書解読会 会員・当館学芸員	13:30 ～15:00
9	月	臨 時 休 館（企画展 展示替えのため）		
12	木	あつぎの古文書解読会 ＜参加自由＞	古文書解読会会員	13:00 ～16:00
15	日	企画展講座再発見! あつぎの絵師 歌川国経 ＜参加申込制＞	平本元一氏(厚木市史編集専門委員)	13:30 ～15:30
19	木	あつぎの古文書解読会 ＜参加自由＞	古文書解読会会員	13:00 ～16:00
21	土	企画展講座近世道標で 拓本体験〈申込制〉	当館学芸員	13:30 ～15:00
26	木	あつぎの古文書解読会 ＜参加自由＞	古文書解読会会員	13:00 ～16:00
30	月	休 館 日		

新着資料紹介

小宮日誌が寄贈されました

「小宮保次郎日誌」は、下川入の民権家・小宮保次郎が記した日記です。明治 14 年(1881)７月から同 17 年(1884)12 月まで、明治 20 年(1887)１月から同 22 年(1889)12 月までの記録、全５冊が現存します。

『神奈川の自由民権』(勁草書房、1984)で大畑哲さんが詳細な解説を施していますが、日記には神奈川県内初にして最大の結社「湘南社」(大磯町)や「相愛社」(厚木町)の創立、自由党総理･板垣退助の厚木来訪の様子などが詳細に記録されています。「小宮日誌」は１月９日からの企画展「あつぎの自由民権運動」でお披露目します。



●あつぎ郷土博物館　**開館時間**　午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日　毎月最終月曜日　年末年始(12/29～1/3)

●古民家岸邸　**開館時間**　午前10時から午後3時まで(入館は午後2時30分まで)
休 館 日　月曜日と火曜日（祝日の場合は翌平日） 12/25～1/3



（申込み・問合せ） あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入１３６６－４ 電話 046－225－2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046－246－3005